

2025年度
事業報告書
(2025.4 - 2026.3)

(公財) 都市活力研究所

目次

事業の状況

【公益事業1】 産学官の交流連携を促進するとともに人材育成、教育研修を実施することで、産業を振興し、地域社会の活性化を図る事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

1. ライフサイエンス分野における産業の振興

(1) 創薬シーズの育成

- A. 創薬シーズ相談会（相談、助言）
- B. 新モダリティコンソーシアム（相談、助言）

(2) 創薬分野におけるコンピュータ利用の促進

- A. インシリコ創薬支援事業（講座、セミナー、育成）

(3) ライフサイエンス産業人材の育成

- A. バイオ講座（講座、セミナー、育成）
- B. 関西ライフサイエンス・リーディングサイエンティストセミナー（講座、セミナー、育成）
- C. バイオメディカル研究会（講座、セミナー、育成）
- D. バイオコミュニティ関西共催セミナー（講座、セミナー、育成）
- E. 次世代モダリティ研究所との共催セミナー（講座、セミナー、育成）

2. 産学融合によるイノベーションエコシステムの形成

(1) 大学と産業界をつなぐイノベーター人材育成プログラムの組成（講座、セミナー、育成）

(2) 大学発シーズ・スタートアップと産業界のマッチングによる産学共創の推進（相談、助言）

(3) 大学発シーズ・スタートアップの表彰（表彰・コンクール）

(4) 産学融合拠点のあり方の研究（調査、資料収集）

【公益事業2】 まちづくりを推進し、都市の活性化を図る事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

1. 新しいまちづくり等のあり方に関する調査研究

- (1) UIIまちづくり研究会（調査、資料収集）
- (2) まちづくりに関するセミナーの開催（講座、セミナー、育成）

2. 鉄道沿線まちづくりに関する調査研究

- (1) 都心近接エリアにおける鉄道沿線まちづくりに関する研究（調査、資料収集）

3. エリアマネジメントに関する調査研究

- (1) エリアマネジメントに関する調査・研究（調査、資料収集）（講座、セミナー、育成）
- (2) エリアMICEの推進に関する調査・研究（調査、資料収集）（講座、セミナー、育成）

【その他事業】 産業とまちの活性化のために実施する公益事業をより有効なものとするための
補助的事业・・ 16

1. 創業関連プロジェクトの推進支援

- (1) (一社)日本マイクロバイオーサムコンソーシアムの運営支援
- (2) バイオコミュニティ関西 (BiocK) の運営支援
- (3) 次世代モダリティ研究所の運営支援

2. エリアマネジメント活動の支援

- (1) 梅田地区における案内所業務への支援
- (2) エリアマネジメント活性化会議の事務局支援

3. (公社)都市住宅学会関西支部の運営支援

4. 大学技術シーズを活用したゼブラエコシステムの形成

5. 産学連携による実証実験プロジェクトの支援

【法人管理】 公益法人としての適正な運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

附属明細書・・ 20

事業の状況

【公益事業1】産学官の交流連携を促進するとともに人材育成、教育研修を実施することで、産業を振興し、地域社会の活性化を図る事業

1. ライフサイエンス分野における産業の振興

ライフサイエンス分野において、大学等での有望な技術や研究テーマである創薬シーズの育成支援、創薬分野へのコンピュータの利用促進を図るための事業推進、技術経営プログラムの提供、さらに国際的な事業連携の課題等の調査を通じて、産業の振興を図る。

(1) 創薬シーズの育成

A. 創薬シーズ相談会（相談、助言）

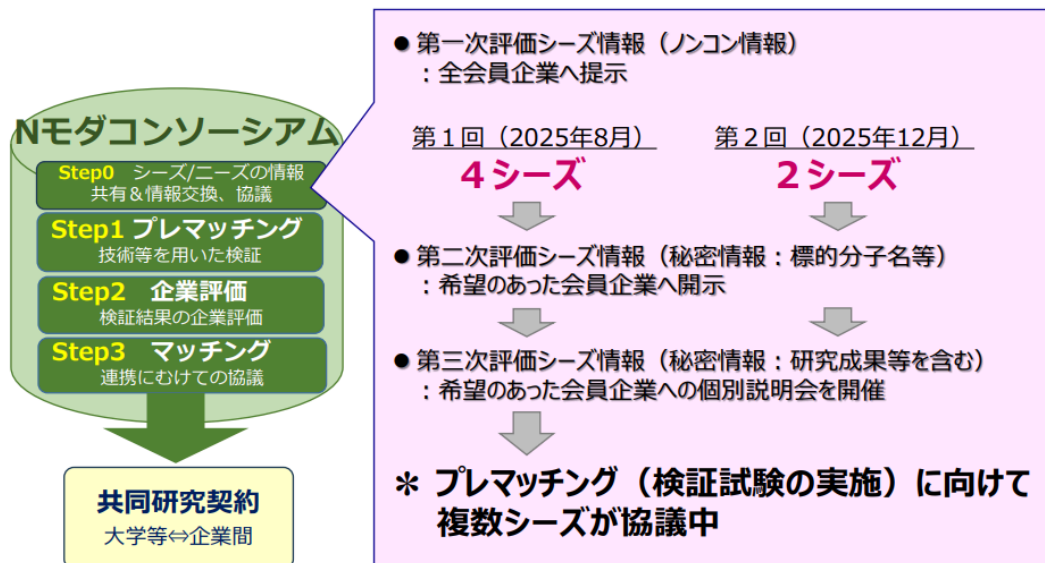
創薬シーズを保有し事業化への意欲を持つ大学等の研究者からの相談に対し、産業界のニーズに精通した製薬企業の研究企画部門担当者が相談委員（18社22名）となり、研究開発の方向性について助言を行う。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨年度に引き続きオンライン開催とし、今年度は1回開催した。

日程	シーズタイトル	シーズ相談者
5/21	Ab initio遺伝子軌道法による新規免疫チェックポイントの網羅的同定法とKYNUの発見	福島県立医科大学

B. 新モダリティコンソーシアム（相談、助言）

2025年7月より国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の医薬品プロジェクト「ニューモダリティコンソーシアム（略称：Nモダコンソ）」の運営事務局として当法人が採択された。

大学やバイオベンチャーの創薬シーズとバイオベンチャーなどが保有する各種の創薬技術をマッチングする産官学のコンソーシアムを運営し、創薬を加速している。



- ・会員企業数：22社
- ・プレマッチング（検証試験の実施）件数：2件

<会議体の開催実績>

日程	概要	出席者
8/8	第1回総会 第1回評価シーズ情報提供説明会	会員企業22社、 厚生労働省医政局研究開発振興課、 AMED、当法人
12/15	第2回評価シーズ情報提供説明会	会員企業15社、AMED、当法人

(2) 創薬分野におけるコンピュータ利用の促進

A. インシリコ創薬支援事業（講座、セミナー、育成）

<2025年度実績なし>

(3) ライフサイエンス産業人材の育成

A. バイオ講座（講座、セミナー、育成）

「ライフサイエンス・アントレプレナー入門塾 2025」

本講座はライフサイエンス分野において、事業開拓や起業に関心を持つ大学院生、大学・研究機関研究者、起業家を目指す若手研究者や企業の事業開発担当者を対象とした人材育成を目的とする実践講座であり、2025年で14年目となる。毎月1回で5月から12月までの8回の講座を実施し、選抜された社会人6名が受講した。また今年度は各回の単発参加での募集も実施しており、のべ9名（うち有料参加者のべ6名）が参加した。

初回と最終回には過去の受講生を含めた同窓会を実施し、のべ12名が参加した。

日程	タイトル	講師
第1日 5/24	「人と組織を動かすプレゼンテーションの極意」	株式会社SmartPresen 代表取締役 新名 史典
	「デザイン思考」	神戸大学大学院医学研究科医療創成工学専攻 神戸大学バリュースクール 特命教授 祇園 景子
第2日 6/28	「ライフサイエンスに関わる知財活用」	弁護士法人 山本特許法律事務所 代表 山本 健策
	「アカデミア発バイオベンチャーのつくりかた」	京都大学イノベーションキャピタル株式会社 投資第一部長/ 京都大学 成長戦略本部 エコシステム構築領域 副統括 八木 信宏
第3日 7/26	「AI/スパコンがもたらす創薬のゲームチェンジ」	一般社団法人ライフインテリジェンスコンソーシアム 事務局長/公益財団法人都市活力研究所 主席研究員 志水 隆一
	「神戸医療産業都市の紹介」	神戸市 企画調整局 医療産業都市部(誘致・産業化担当) 係長 奥町 卓大
	<神戸医療産業都市 クリエイティブラボ神戸（CLIK）内部見学会>	
第4日 8/30	「リーダーシップの本質と実践」	Eurus Therapeutics株式会社 代表取締役 CEO FORESIGHT&LINX株式会社 代表取締役 社長 能見 貴人
	「バイオテック・スタートアップのファイナンス」	合同会社SARR 代表執行社員 松田 一敬

第5日 9/20	「デジタルセラピューティクス (DTx) 開発と事業化」	株式会社asken 医療事業部 部長 松尾 恵太郎
	「京都市の取り組みの紹介」	京都市産業観光局 スタートアップ・産学連携推進室 ライフ産業振興係長 岡田 阜紀
	<京都リサーチパーク 内部見学会>	
第6日 10/25	「オープンイノベーション活動に必要な人材と、ニーズとシーズをベストマッチさせる方法」	北陸先端科学技術大学院大学 産学官連携客員教授 樋口 裕思
	「製薬産業におけるオープンイノベーション」	塩野義製薬株式会社 事業開発部 有岡 伸悟
外部見学 11/7	NakanoshimaCross 見学会	
第7日 11/29	「起業のための会計と税務の基礎知識」	北斗税理士法人 代表社員 西 宏章
	「ベンチャースピリットとイノベーション」	株式会社創晶 代表取締役社長 株式会社dotAqua 代表取締役社長 安達 宏昭
外部見学 12/19	大阪ガス カーボンニュートラルリサーチハブ 見学会	
第8日 12/20	「医療機器開発の現状と課題」	神戸大学 大学院医学研究科医療創成工学専攻 未来医工学研究開発センター/ 医学部附属病院 医工探索 創成センター 特命教授 保多 隆裕
	「事業化を目指す研究者のための特許と契約」	国立循環器病研究センター 産学連携本部長 浅野 滋啓

「Innovation Design Management 2026」

本講座は、ライフサイエンス分野のビジネスにおいて「新しい製品・サービスを企画したい」あるいは「アイデアを新規事業として提案したい」と考えている方々を対象とした神戸大学 バリュースクールとの共催プログラムであり、今年度で6年目となる。

3日間にわたるプログラムの中で、イノベーションを設計する際に必要となるデザイン思考やシステム思考の基本と使い方についてグループワークを通じて習得できるものとなっている。今年度は10名が参加した。

B. 関西ライフサイエンス・リーディングサイエンティストセミナー

(講座、セミナー、育成)

今年度で13期目となる本セミナーは、ライフサイエンス分野で最先端の研究を先導する関西の研究者を招き、最新情報の提供及び参加者同士の交流の場を提供することを目的としている。主催は当法人と近畿バイオインダストリー振興会議、後援は関西医薬品協会、バイオコミュニティ関西等の関西の諸団体の協力を得て継続している。今期も全3回をオンラインで下記の通り開催した。

日程	タイトル	講師	参加者
第44回 7/8	「産学連携で推進する標的アルファ線核医学治療の社会実装」	大阪大学・核物理研究センター長 中野 貴志	85名

	「GPCR シグナルの精緻解析から解明する統合理論」	京都大学・大学院薬学研究科・教授/東北大学・大学院薬学研究科・教授 井上 飛鳥	
第45回 10/23	「21 世紀の国際感染症対策と日本」	大阪大学 ワクチン開発拠点 先端モダリティ・ドラッグデリバリーシステム研究センター・特任教授 高島 義裕	123名
	「mRNA創薬の可能性と未来」	大阪大学 感染症総合教育研究拠点 (CiDER)臨床生命工学チーム・教授 位高 啓史	
第46回 2/4	「次世代メタボローム分析技術」	九州大学生体防御医学研究所 主幹教授 馬場健史	70名
	「造血幹細胞を用いた神戸での挑戦」	神戸大学大学院医学研究科 生化学・分子生物学講座細胞医科学 教授 宮西正憲	

C. バイオメディカル研究会（講座、セミナー、育成）

本研究会は、日本バイオインフォマティクス学会が生命科学分野の人材育成により健康分野の産業発展を通じて人々の健康増進に寄与することを目的として開催し、創薬・臨床応用を見据えた最先端研究をテーマに参加者に知的交流の場を提供している。当法人は同会の趣旨に賛同し、2010年度より事務局を担い企画や運営を協力している。
<2025年度実績なし>

D. バイオコミュニティ関西共催セミナー（講座、セミナー、育成）

今期は、内閣府の「バイオエコノミー戦略」の普及啓発の一環として全国8つの内閣府認定のバイオコミュニティで組成したBioeconomy Hub Japan 組織委員会の主催で大阪・関西万博の開幕に合わせ国海外から15名の専門家を招聘しプラネタリーヘルスをテーマとした国内初の国際シンポジウムを開催した。岸田文雄前首相のビデオ登壇もあり海外25カ国からの参加があった。

日程	タイトル	主催者等	参加者
4/17-18	Bioeconomy Hub Japan 2025 プラネタリーヘルス ～バイオによるイノベーションがプラネタリーヘルスをどう実現するか～	主催：Bioeconomy Hub Japan 組織委員会 後援：公社）2025年日本国際博覧会協会ほか 経済産業省含め8省庁 協賛：塩野義製薬、阪急阪神不動産等7企業	339名

E. 次世代モダリティ研究所との共催セミナー（講座、セミナー、育成）

その他事業として事務局業務を担っているモダリティ研究所との共催により下記のセミナーを開催した。

主催：NPO法人情報計算化学生物学会・CBI研究機構・次世代モダリティ研究所
関西医薬品協会、LINK-J（一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン）
共催：都市活力研究所

*：オンライン

日程	テーマ	参加者
第14回 5/20	～微生物創薬の現状と将来～ 「タンパク質分解医薬の開発動向と将来展望」 「タンパク質分解医薬の非臨床安全性試験に関する課題と取り組み」 「エーザイにおけるMolecular Glue創薬研究の経緯と展望」	1,344人 *1,273人
第15回 8/29	～RNAを標的とした低分子化合物医薬品の創生～ 「核酸標的低分子創成の課題と展望：機械学習によるFocused Library Prediction技術の開発」 「低分子創薬はmRNAをターゲットにすると何がかわるのか？」 「脊髄性筋萎縮症に対する初の経口薬「エプリスティ®」の開発」 「次世代モダリティと創薬イノベーション」	1,099人 *1,034人
第16回 11/21	～mRNAワクチン開発の現状～ 「核酸による免疫制御技術開発研究の新展開」 「高純度mRNAの製造を基盤とする創薬開発」 「mRNAワクチン製造への挑戦と今後の展望」	914人 *862人
第17回 2/20	～核酸アプタマー医薬品の可能性～ 「アプタマー創薬の発展」 「AIアプタマー創薬」 「独自の人工塩基対技術基盤を用いたDNAアプタマーの有用性：創薬と応用」	914人 *862人

2. 産学融合によるイノベーションエコシステムの形成

大学と産業界が一体となり研究シーズの社会実装や大学発スタートアップ等の育成を推進し産業の振興を図ることを目的として、「関西イノベーションイニシアティブ（KSII：Kansai Innovation Initiative）」を運営している。

本事業は2020年9月に経済産業省の「産学融合先導モデル拠点プログラム（J-NEXUS創出エリア支援型）」に採択され、当法人が代表幹事機関を務めている。今年度からは、J-NEXUS 自走化型に新たに採択され、当法人の事業として自走化し活動を継続している。

参画大学は今年度も増加しており、2026年3月末時点で34大学（事業開始時点は17大学）となっている。各大学への訪問・ヒアリング等による課題抽出や、大学発スタートアップや研究シーズと産業界の接点拡充も継続して行っている。

(1) 大学と産業界をつなぐイノベーター人材育成プログラムの組成

（講座、セミナー、育成）

大学の産学連携・事業化支援担当者から募った課題・ニーズを踏まえて、支援人材向けのセミナーを開催した。計5回の連続講座として実施し、各回講師（専門家）による講義やグループワーク等によって、知識やスキルの向上・定着を図った。

日程	タイトル	会場	内容
10/31	第1回 KSIIセミナー	HOOPSLINK KANSAI	・申請書ブラッシュアップセミナー

11/27	第2回 KSIIセミナー	HOOPSLINK KANSAI	・研究シーズの出口戦略
12/22	第3回 KSIIセミナー	立命館大学大阪いばらき キャンパスH棟	・大学が考えるべきスタートアップ設立（VCの視点から）
2/6	第4回 KSIIセミナー	HOOPSLINK KANSAI	・採択に1歩近づく申請書のポイント（GAPファンド） ・ものづくり中小企業との関わり
3/11	第5回 KSIIセミナー	グラングリーン大阪 JAMBASE カンファレンス ルーム	・知財ワークショップ

（2）大学発シーズ・スタートアップと産業界のマッチングによる産学共創の推進

（相談、助言）

産業界とアカデミアとのギャップを解消するため、大学の産連本部やKSAC（関西スタートアップアカデミア・コアリション）等と共働し、シーズとニーズのマッチング機会を創出する。

具体的には、技術シーズや大学発スタートアップを事業会社やVC等に紹介するマッチングイベント等で連携機会の創出したり、大学発スタートアップの発信機会の創出に取り組んでいる。

● マッチングイベント

日程	タイトル	主催者等	参加者
6/13	KANSAI SEED NEXT FORCE 2025	主催：STORIUM（株式会社グランストーリー）、 一般社団法人うめきた未来イノベーション機構（ U-FINO） 共催：関西イノベーションイニシアティブ	44名
7/1	HVC KYOTO 2025	主催：京都市、独立行政法人日本貿易振興機構、京 都府、京都リサーチパーク株式会社 共催：関西イノベーションイニシアティブ、京都大 学成長戦略本部、京都大学イノベーションキャピ タル株式会社	338名
8/26	第3回 京阪神 三都X（cross）	主催：関西イノベーションイニシアティブ、大阪・ 京都・ひょうご神戸コンソーシアム	112名
10/6	関経連DXオープンイノベ ーションフォーラム 2025	主催：関西イノベーションイニシアティブ、関西経 済連合会	81名
12/4	UniverSeedsEXPO2025（東 京開催）	主催：関西イノベーションイニシアティブ、三井住 友銀行	283名

（3）大学発シーズ・スタートアップの表彰（表彰・コンクール）

KSIIゼブラ企業創出等に向けた大学発スタートアップの活性化、裾野拡大等のため、ピッチ形式の事業展開支援プログラム「U-START UP KANSAI」を実施した。

*オンライン

日程	タイトル	主催者等	参加者
9/19	大学発スタートアップ事業展開支援プロ グラム「U-STARTUP KANSAI 2025」	主催：大阪商工会議所、関西イ ノベーションイニシアティブ	346名 *123名

(4) 産学融合拠点のあり方の研究（調査、資料収集）

参画大学間の連携促進や、技術シーズおよび大学発スタートアップの情報収集・発信・見える化を推進している。

- **技術シーズ集 電子マガジンポータルサイト**

事業会社やVC・起業家等が、大学の技術シーズを一括して閲覧・検索することが可能になることで、技術シーズ情報の活用促進を図る。今年度も参画大学に対してデータ提供および更新を依頼し、データベースの充実を図っている。

- **関西エリア大学発スタートアップ集**

関西エリアの大学発スタートアップの見える化を図り、産業界・金融・VC等への発信および各方面からのスタートアップに対する協業・支援機会を創出する。より多くの方々に見てもらうため、また最新情報を提供するため、電子媒体と紙媒体の双方を提供している。

随時、スタートアップの新規掲載や掲載内容更新をしており、現在約140社を掲載中である。

- **大学連携の促進**

KSII参画大学・高専同士の連携を一層促進するとともに、KSIIからの各種連絡・情報発信の場とすることを目的に、今年度から参画大学連絡会を開始した。参画大学の共通の課題解決や1大学では実施できない活動等を促進する。

日程	タイトル	会場	内容
5/30	第1回 KSII参画大学連絡会	グラングリーン大阪 JAMBASE カンファレンス スルーム	・KSIIの活動計画説明 ・共通課題抽出ワークショップ
9/10	第2回 KSII参画大学連絡会	神戸大学 バイオメディカル メンブレン研究・オープンイ ノベーション拠点 棟 ダイセルOIホール	・事例共有:大学発スタート アップの認定制度、大学ファン ド) ・施設見学
12/22	第3回 KSII参画大学連絡会	立命館大学大阪いばらき キャンパスH棟	・KSIIからの案内 ・施設見学
3/11	第4回 KSII参画大学連絡会	グラングリーン大阪 JAMBASE カンファレン スルーム	・KSIIの活動報告 ・九州・沖縄地域の大学との交 流

【公益事業2】まちづくりを推進し、都市の活性化を図る事業

1. 新しいまちづくり等のあり方に関する調査研究

新しいまちづくりのあり方について産学官で議論する場をつくり、今後の新しい方向性の提言等により、新しいムーブメントの醸成に寄与する。

(1) UIIまちづくり研究会（調査、資料収集）

大阪都心部の活性化に向けて、これからのまちづくりのあり方を研究する研究会を設置し調査研究を行っている。

今年度は、下記の検討会を実施しており、概要は次の通りである。

● 都心フリンジ検討会

・検討会の主旨・目的

近年、業務中心／効率性重視の単一機能高層ビル型再開発モデル中心の都心のあり方が問われている。都心部の周縁部で交流文化から生まれるイノベーションやコミュニティが都市の個性として重要視される。その場として注目されているのが「都心フリンジ」である。（十三、中津、新今宮、京橋等のエリアを想定）

国土交通省でも2024年度「都市の個性の確立と質や価値の向上に関する懇談会」等で下記のような趣旨が記載されている。

「人口減少の本格化、建築費の高騰、SDGsへの貢献など、都市を巡る状況が大きく変化。これからの都市は、短期的な収益性や経済合理性だけではなく、中長期的な視点や地域文化を育む観点からも、地域資源を活用してシビックプライドを醸成する「個性の確立」や、暮らす人・働く人・訪れる人を惹きつける「質や価値の向上」を図ることが重要。」

そこで、これまでの研究会のような聴講中心の情報共有や交流だけでなく、参加者自身から都心フリンジについての課題認識や課題提起をもとに、学識経験者、有識者と参加者全員で課題解決に向けた検討、議論と解決策（制度、政策等含む）を模索する。

学識関係者や有識者からは将来的には、ニューヨークの「ハイライン」や「タイムズスクエア歩行者空間化」等を企画、提案、実現したNPO「デザイントラスト」等も参考に、フリンジのまちづくりやエリアマネジメントのノウハウ蓄積、企画、提案を旨とした公益的な組織への展開も提案されている。

・推進体制

学識経験者

山口 敬太氏（京都大学工学研究科 社会基盤工学専攻 准教授）

「京都三条通デザインワークショップ」等の新たなまちづくりの仕組み等の実績

有識者

泉 英明氏（有限会社ハートビートプラン 代表取締役）

「なんば広場」等の前例の無い都市空間実現の実績

事務局

都市活力研究所および中央復建コンサルタンツ株式会社

事務局支援業務委託先

中央復建コンサルタンツ株式会社（代表取締役社長/白水靖郎氏）

「なんば広場」、「京都三条通」等の技術、制度等の検討支援等の実績

・議論参加者

単年度ではなく複数年に渡って将来のまちづくりの議論ができる世代の候補者を選定。

(参加者の所属企業)

西日本旅客鉄道、大阪市高速電気軌道、通天閣観光（南海電鉄）
京阪ホールディングス、阪神電気鉄道、阪急阪神不動産、阪急電鉄

・25年度開催実績

10月からの検討会実施に向けて、6月～9月まで準備会として参加者からの課題提起と学識、有識者との議論を進めた。10月からの検討会の正式開始に際して、各社に継続的参加の意向、可否等を確認したところ全社検討会参加に意欲的であったことから、参加者に変更なく25年度検討会を開催した。

なお検討会の名称について準備会で議論の結果「「都心フリンジのエリア価値創造」検討会」に決定した。

日程	タイトル、場所、日時	テーマ・発表者等
6/26 (木)	第1回都心フリンジ検討会 準備会 場所：阪急阪神不動産(株)1603会議室 時間：15:00～16:00 事務局会議 16:00～17:00 準備会 参加者：(事務局会) 7名 (検討会) 12名	・参加候補者へ今後の進め方説明 ・事務局より話題提供 中央復建コンサルタンツ株式会社 代表取締役社長・白水 靖郎氏
7/23 (水)	第2回都心フリンジ検討会 準備会 場所：阪急阪神不動産(株)1504会議室 時間：16:00～18:00 参加者：14名	・話題提供① 大阪市高速電気軌道(株)/浦田 周兵氏 「エリアリノベーションプロジェクト」 ・話題提供② 通天閣観光(株) (南海) 「新世界とは」 福井 良佑氏 ・ディスカッション
8/19 (火)	第3回都心フリンジ検討会 準備会 場所：阪急阪神不動産(株)1603会議室 時間：16:00～18:00 参加者：13名	・話題提供① 阪急電鉄(株)/永田 賢司氏 「阪急のまちづくりについて」 ・話題提供② 阪神電気鉄道(株)/谷野 早苗氏 「フリンジ検討会資料（阪神沿線の現状）」 ・話題提供③ 阪急阪神不動産(株)/中野 草太氏 「梅田エリア・ グラングリーン大阪から見たフリンジ」 ・ディスカッション
9/11 (木)	第4回都心フリンジ検討会 準備会 場所：阪急阪神不動産(株)1603会議室 時間：16:00～18:00 参加者13名	・話題提供① 西日本旅客鉄道(株)/古庄 大樹氏 「高架下の活用・開発状況」 ・話題提供② 京阪ホールディングス(株)/高橋 有香子氏 「沿線での課題について」 ・話題提供③ 京阪ホールディングス(株)/高野 みのり氏 「京阪沿線の主なプロジェクト/守口市駅北側エ リアについて」 ・ディスカッション

10/27 (月)	第1回「都心フリンジのエリア価値創造」検討会 場所：阪急阪神不動産(株)1503会議室 時間：16:00～18:00 参加者14名	・山口先生・ロンドンBID視察報告 ・ディスカッション
12/8 (月)	第2回「都心フリンジのエリア価値創造」検討会 場所：阪急阪神不動産(株)1503会議室 時間：16:00～18:00 参加者16名	・講演 一般財団法人 民間都市開発推進機構 常務理事 渡邊 浩司氏 「都心フリンジエリアの価値創造と沿線まちづくり」 ・ディスカッション
2026 年 2/10 (火)	第3回「都心フリンジのエリア価値創造」検討会 場所：阪急電鉄株式会社 本社ビル 5階501会議室 時間：15:00～18:00 参加者15名	・26年度以降の方針（案）説明 ・評価シート全体を俯瞰した今後の検討の方向性、分析 ・個別のシートや結果について確認、意見交換等

● 国土交通省関連団体との活動連携

国土交通省都市局の関連団体である一般財団法人都市みらい推進機構と当法人とは2015年度より、研究発表会の共催、後援等で連携している。また、同機構が事務局を運営しているアーバンインフラ・テクノロジー推進会議（以下「UIT」）には特別会員としても連携している。

今年度も当法人が論文審査等に協力するとともに12月にUITが東京で主催した技術研究発表会等の後援を行った。

国土交通省からは当法人や阪急阪神不動産、阪急電鉄等との定期的な意見交換等も要請されており、来年度も引き続き連携を強化していく。

12/5 (金)	「第37回技術研究発表会」 / 「第32回交流展示会」 日時：2025年12月5日（金） 時間：10:30～18:50 リアル会場：3×3Lab Future（ハイブリッド形式） 参加者296名
-------------	--

（2）まちづくりに関するセミナーの開催（講座、セミナー、育成）

● UIIまちづくりDX講座

まちづくり関係業務に携わる業界関係者に対し、今後のスマートシティ等の議論に対応するために、まちづくりアプリ作成等の実践型のセミナーを実施することで「まちづくり×DX」について考える機会の提供とコミュニティの形成を目指す連続講座を23年度に開催し、参加者から好評を得ている。24年度に続き25年度も開催した。（25年度の参加者12名）。

なお、26年度については、これまで3年間の活動成果やDXの動向等を踏まえた見直し等を検討予定。

開催日	タイトル、会場、日時	テーマ・講師
6/7 (土)	第1回 UIIまちづくりDX講座2025 場所：都市活力研究所セミナールーム 時間：14:00～16:00 参加者：14名	「GoogleSitesを使って、防災ポータルサイトを作ってみよう」 GONENGO LLC Founder/CEO Xin Suzuki 氏
7/5 (土)	第2回 UIIまちづくりDX講座2025 場所：ナレッジサロンプレゼンルーム 時間：14:00～16:00 参加者：11名	「地域の課題解決を加速するAppSheetを使って、防災イベントの受付アプリを作ってみよう」 GONENGO LLC Founder/CEO Xin Suzuki 氏
8/2 (土)	第3回 UIIまちづくりDX講座2025 場所：大阪市立総合生涯学習センター 時間：14:00～16:00 参加者：11名	「地域の魅力を高めるpalanARを使って、まちの回遊性を高めるWebARを実装してみよう」 大阪駆動開発 Co-Founder 山地直彰 氏
9/6 (土)	第4回 UIIまちづくりDX講座2025 場所：コミュニティスペース5.6 時間：14:00～16:00 参加者：11名	「地域の資産を未来へ繋ぐLiDAR&フォトグラメトリ用アプリを使って、建築物をデジタルアーカイブしてみよう」 大阪駆動開発 Co-Founder 山地直彰 氏
10/11 (土)	第5回 UIIまちづくりDX講座2025 場所：UMESHIBA BASE 時間：14:00～16:00 参加者：11名	「地域の情報発信を効率化するGammaを使って、AIにプレゼンテーションスライドを作成してもらおう」 プログラマー 牮黒竜太 氏
11/1 (土)	第6回 UIIまちづくりDX講座2025 場所：ナレッジサロンプレゼンルーム 時間：14:00～16:00 参加者：12名	「地域の広報活動をレベルアップするCanvaを使って、AIに広報用動画の制作をサポートしてもらおう」 講師:プログラマー 牮黒竜太
12/6 (土)	第7回 UIIまちづくりDX講座2025 場所：ナレッジサロンプレゼンルーム 時間：14:00～16:00 参加者：11名	「地域の情報を整理・活用するChatGPTとNotebookLMを使って、出店位置を分析しよう」 プログラマー 牮黒竜太 氏
2026年 1/10 (土)	第8回 UIIまちづくりDX講座2025 場所：UMESHIBA BASE 時間：14:00～16:00 参加者:10名	「地域の担い手不足を解消するDifyを使って、観光案内チャットボットを作成しよう（基礎知識・準備）」 プログラマー 大西優司 氏
2/7 (土)	第9回 UIIまちづくりDX講座2025 場所：UMESHIBA BASE 時間：14:00～16:00 参加者：10名	「地域の担い手不足を解消するDifyを使って、観光案内チャットボットを作成しよう（実践）」 講師:プログラマー 大西優司 氏
3/7 (土)	第10回 UIIまちづくりDX講座2025 場所：BloomingCamp 時間：14:00～16:00 参加者：12名	成果発表会 自作アプリのフィードバックをもらおう GONENGO LLC Founder/CEO 大阪駆動開発 Co-Founder/Xin Suzuki 氏

- **芝田XR HACK-A-THON**

まちづくりDX講座等で連携しているUR西日本が、梅田・芝田2丁目のまちづくりにおいて、地域の専門学校（上田安子専門学校）やJR西日本、JRA、阪急阪神不動産等と連携した「XRを活用したまちづくり」を目指して2023年度より「芝田XR HACK-A-THON presented by UR」を実施している。2025年度実施に際して一部活動費や審査員紹介等を支援した。

2/12（木） -13（金）	芝田 XR HACK-A-THON presented by UR 日時：2026年02月12日(木)、2月13日 10:00～17:00 会場：UMESHIBA BASE by UR」（大阪市北区芝田2丁目5-1） 参加者：25名
-------------------	---

2. 鉄道沿線まちづくりに関する調査研究

大都市近郊部の高齢化や人口減少等の課題に対応するため、鉄道の駅を中心としたコンパクトなまちづくりを目指し、鉄道沿線価値の維持・向上に向けた調査研究を行い、提言につなげる。

(1) 都心近接エリアにおける鉄道沿線まちづくりに関する研究（調査、資料収集）

- 「十三× JUSO CROSS」

分譲マンション「ジオタワー十三」開発など、十三地区のまちづくりが動き出す中で、今後の地域コミュニティ形成や地域文化、歴史等の発掘、発信等に向けた情報発信イベント「十三× JUSO CROSS」を昨年度も株式会社ウェルビーイング阪急阪神（WBHH）と連携して進めた。

開催日	会場	テーマ
2026年3/4（水） 18:30～20:30	レッドカーペット 参加者 39名	<p>【タイトル】 「十三クロス まちづくり編・十三における川を活かしたウォーカブルなまちづくり」</p> <p>【趣旨説明】 総合調査設計(株) 笹井浩 氏 「趣旨説明と十三を取り巻く状況」</p> <p>【講演】 大阪公立大学/准教授/吉田長裕 氏 「川を活かしたまちづくり」 京都大学/准教授/山口敬太 氏 「ウォーカブルなまちづくり」</p> <p>【クロストーク】 ファシリテーター 淀川界隈エリアマネジメント/土井智史 氏 登壇者 大阪公立大学/准教授/吉田長裕 氏 京都大学/准教授/山口敬太 氏</p>

- 「十三未来会議」

十三の知名度向上とイメージ会税を目指し、十三の魅力や今後のまちづくりに関わる人材発掘のためのイベントをWBHHとの共催により実施した。地元にお住まいの方の参加が多く、地元活性化に対する高い関心がうかがえる。参加者の主な属性としてはキッズダンススクール、子ども食堂×コワーキングスペース運営者、十三の不動産経営

者、クリニック経営者、まちづくりコンサルティング業などとなっている。

開催日	会場	参加者	テーマ
4/18 (金) 19:00 ~21:00	第5回十三未来会議 場所：十三・ビビディバ ビディ部	24名	チーム分け
5/23 (金) 19:00 ~21:00	第6回十三未来会議 場所：プランセンカ	25名	ミニレクチャー 活動の始め方
7/18(金) 19:00 ~21:00	第7回十三未来会議 場所：淀川区民センター	25名	リサーチ結果共有 仮想イベント企画
8/22 (金) 19:00~ 21:00	第8回十三未来会議 場所：淀川区民センター	22名	中間レクチャー
10/24 (金) 19:00 ~21:00	第9回十三未来会議 場所：フェルスベ会議室	24名	各チームワークワーク計画書作成
11/30 (日) 12:30 ~17:30	プレイベント 「トライやる×ホリデー」 場所：グランドサロン十三	169名	各チームの中間発表等
2026年 1/31 (土) 14:00~ 17:00	最終発表会 場所：グランドサロン十三	30名	これまでの活動内容まとめ及び今度の活動計画 の発表 【講評】 関西大学/総合情報学部総合情報学科/教授/松下 光範 氏 関西大学/総合情報学部総合情報学科/教授/徳山 美津恵 氏 近畿大学建築学部建築学科/地域マネジメント研 究室 近畿大学アンチエイジングセンター/准教授/寺 川政司 氏 アールプレイ株式会社/代表取締役/和田欣也 氏 神戸大学院/工学研究科/建築学専攻/教授/槻橋 修 氏 大阪公立大学大学院/工学研究科/都市系専攻 准教授/吉田長裕 氏 京都市立芸術大学/名誉教授/藤本英子 氏

*各チームの名称と検討内容は以下の通り。

チーム名	人数	概要
十三観光協会	3名	十三にあるもの、やることを集めて伝える
Machi Movie Collection	4名	夏から秋にかけて週1で屋外シネマ、秋にファッション ショー
十三みんなのいやし場づ くり	5名	老若男女のコミュニケーションをつくる子供主体となって 十三を発信する。
アキカツ	4名	空家を活用する
十三オーケストラ	7名	全員参加型のエンタメ、テーマソング、オリジナルグルメ を作る
Well-Cross十三	5名	河川敷や十三の様々な施設で健康イベントを実施

● 自動運転バス等をテーマとしたセミナーの実施

24年度より阪急電鉄との共催で、「地域の未来を考える公共交通セミナー」を開催している。25年度も3回開催した。

なお、今年度は阪急電鉄が本事業について国土交通省の補助金を獲得しており、国土交通省との関係を強化している。

	会場、時間、参加者数	テーマ
6/24 (火)	場所： NORIBA10 umeda 時間 14:00~17:00 参加人数 55名	【講演】 「これからの交通まちづくりに必要な産学官民の関係性の再構築」 大阪大学大学院 / 工学研究科 / 地球総合工学専攻 / 社会基盤工 コース/助教/葉 健人 氏 【パネルディスカッション】 「高齢化が進むニュータウンでの共創的なまちづくりの実践」 大阪大学大学院/工学研究科/地球総合工学専攻/助教/葉 健人 氏 大阪公立大学 / 生活科学研究科/居住環境学分野/講師/加登 遼 氏 茨木市/都市整備部/都市政策課/ 課長/新開 邦弘 氏
11/25 (火)	場所： 千里阪急ホテル 時間 14:00~17:00 参加人数 41名	【講演】 「“地域の交通”と“新たなモビリティ”と“都市・まちづくり”の融合」 呉工業高等専門学校 環境都市工学分野 教授 神田 佑亮 氏 【トークセッション】 「これからの交通まちづくりの可能性について(仮題)」 呉工業高等専門学校 / 環境都市工学分野/教授 / 神田 佑亮 氏 京都大学大学院/ 工学研究科/都市社会工学専攻 准教授/中尾 聡史 氏 【EVバスの展示・試乗】 「自動運転システムへの対応が可能なEVマイクロバスのご紹介」 株式会社EVモーターズ・ジャパン/ディレクター/森 昭夫 氏
2026年 2/6 (金)	場所： NORIBA10 umeda 時間 14:00~17:00 参加人数 41名	【講演】 「『交通空白』の解消に向けた取組の現在地とこれから」 国土交通省/総合政策局/地域交通課/地域交通計画調整官 荒川 丈裕 氏 「複数の自治体を跨いだオンデマンド交通の共同化・協業化の取組」 ネクスト・モビリティ株式会社/社代表取締役副社長/小田垣曜 氏 「自治体が交通データ分析を主導する時代に向けた取組」 株式会社AMANE/ 取締役/齊藤せつな 氏 【パネルディスカッション】 テーマ：「『交通空白』 解消／持続可能な地域交通の実現に向けて」 パネラー： 荒川丈裕 氏/小田垣曜 氏/齊藤せつな 氏 モデレーター： 齊藤せつな 氏

3. エリアマネジメントに関する調査研究

地域における良好な環境や価値を維持・向上させるための地権者を主体とした取り組みについて、梅田地区を例にとり調査研究を行う。

(1) エリアマネジメントに関する調査・研究（講座、セミナー、育成）（調査、資料収集）
<2025年度実績なし>

(2) エリアMICEの推進に関する調査・研究（講座、セミナー、育成）（調査、資料収集）
<2025年度実績なし>

【その他事業】産業とまちの活性化のために実施する公益事業をより有効なものとするための補助的事業

1. 創薬関連プロジェクトの推進支援

大阪・関西が強みを持つ製薬・バイオ業界の振興のため、非競争領域における創薬の基盤技術の普及や促進のための活動や、バイオエコノミー社会の実現を目指した活動を支援している。

(1) (一社) 日本マイクロバイオームコンソーシアムの運営支援

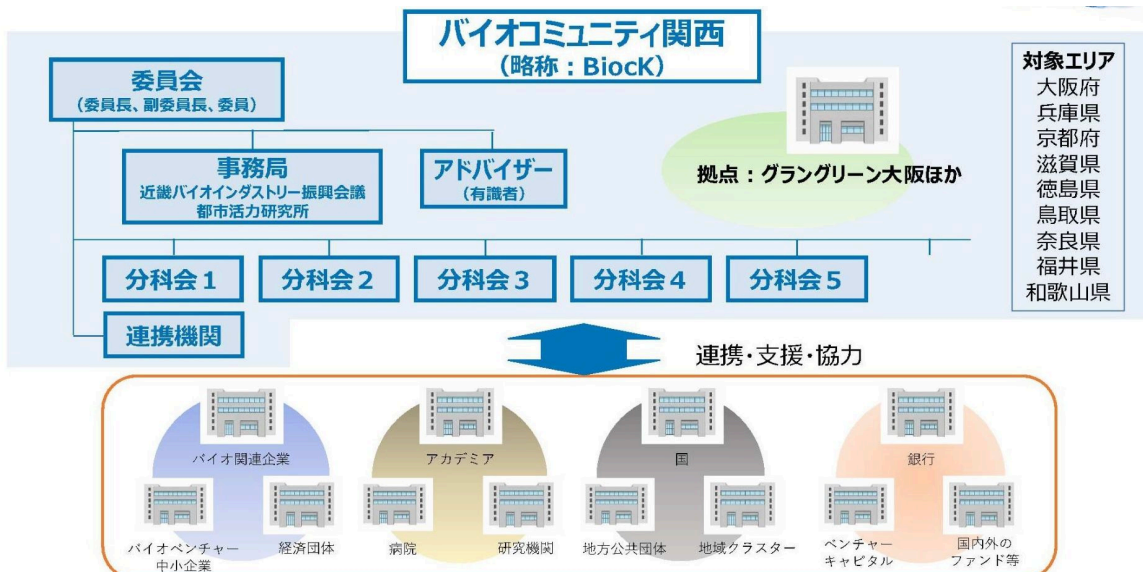
本法人は製薬や食品業界を中心として2017年に設立された企業コンソーシアムで、今期で9期を終えた。(国研)日本医療研究開発機構から採択された6年間のプロジェクトは5年目にして、6月に腸内細菌学会、10月にBioJapan出展、関係学会や論文での発表を行い成果を公表した。当初より当法人は事務局を担い運営を支援してきたが、この分野での業界初の企業コンソーシアムを通じて産業振興に関わる一定の成果をあげたため今年度で支援協力を終える。来年度からは当法人からスピンアウトし自律的に活動を進める予定。

プロジェクト名	概要	委託元
次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業	腸内マイクロバイオーム制御による次世代創薬技術の開発	日本医療研究開発機構 (AMED)

日程	イベント	主催者等	来場者
6/23-24	第29回腸内細菌学会学術集会でのブース出展	主催：腸内細菌学会 共催：公益財団法人都市活力研究所	1,500名

(2) バイオコミュニティ関西 (BiocK) の運営支援

本団体は、2021年7月、内閣府のバイオ戦略に基づき、バイオエコノミー社会の実現を目指して設立された。当法人はNPO法人近畿バイオインダストリー振興会議と共に事務局を担い活動を支援している。内閣府認定のグローバルバイオコミュニティとして、各分科会活動の牽引、全国のバイオコミュニティや海外の関係機関との連携強化、一般向けのセミナーの企画運営やWEBでの情報発信を行っている。



<会議体の開催実績>

日程	概要	出席者
7/10	第9回委員会（内閣府グローバルスタートアップEXPO紹介等）	内閣府、委員等 76名
8/28	第5回分科会会議（内閣府令和7年度バイオコミュニティ機能強化事業、他）	分科会メンバー等 57名
2/10	第10回委員会（内閣府令和8年度バイオコミュニティ機能強化事業計画、関西バイオものづくりステアリングコミッティ設置等）	内閣府、委員等 92名

（3）次世代モダリティ研究所の運営支援

低分子に代わる製薬の新しいモダリティ（様式）として、抗体、核酸、細胞治療などが注目を集めている。これらは従来の創薬手法ではないアプローチで必要で、化学メーカーなども非常に興味を持っている。新しいモダリティのあり方を、化学メーカー、製薬メーカー、バイオベンチャーなど巻き込んで技術課題やビジネスの在り方を研究するため、特定非営利活動法人情報計算化学生物学会（CBI学会）の傘下のCBI研究機構内に次世代モダリティ研究所を設立し、その事務局として運営支援を行っている。

2. エリアマネジメント活動の支援

公益事業2において調査・研究したまちづくりのあり方の方策を実践に移すため、都心部におけるエリアマネジメント団体等の諸活動を支援している。

（1）梅田地区における案内所業務への支援

関係者と協議のうえ、2024年度末に支援業務を終了した。

（2）エリアマネジメント活性化会議の事務局支援

大阪市と市内エリアマネジメント11団体で構成する会議で、大阪市内におけるエリアマネジメント活動の活性化に向けたアクションプランとガイドラインの策定を目指し2016年度に発足した。今年度は万博来場者に市内回遊を促すため、「2025OSAKAまちの魅力マスターズスタンプラリー（6/13～10/13）」を実施した。

<会議体の開催実績>

日程	内容
8/18	第19回 大阪エリアマネジメント活性化会議（書面決議）
8/28	第1回 専門部会（公開空地に関する規制緩和案など）
2026/2/18	第2回 専門部会（同上）
3/30	第20回 大阪エリアマネジメント活性化会議

3. （公社）都市住宅学会関西支部の運営支援

日本の都市住宅/居住学について、社会、経済、技術、文化等の横断的な領域にまたがる学際的な学会で、1992年に設立された。関西支部においては、公的住宅団地、子育て環境、超高層住宅のあり方や、鉄道駅を中心としたコンパクトなまちづくりに関する調査研究を実施している。

当法人は、2015年より事務局業務を受託し、今年度上期は関西支部総会1回/常議員会3回のほか、関連セミナー1回、学生研究発表交流会の告知を支援した。下期は常議員会2回、

全国大会開催支援した。

なお、今年度は事務局業務受託10年目となり、学会関西支部や当法人の状況、体制が受託当時と大きく変化してきており、支部長と受託業務の見直し等について協議の結果、今年度で受託業務を終了することとなった。

4. 大学技術シーズを活用したゼブラエコシステムの形成

社会課題解決と持続的成長を両立する大学発スタートアップである「KSIIゼブラ企業」を大阪・関西から連続的に輩出することを目指し、公益事業1で認定したKSIIゼブラ企業をはじめとする有望な大学発スタートアップを集中的・総合的に支援する取り組みを行う。

個別支援対象企業を選定したうえ、大学発スタートアップ等の成長が事業進展に向けた個別課題・ニーズに応じた支援メニューを提供している。

5. 産学連携による実証実験プロジェクトの支援

今年度より一般社団法人関西イノベーションセンター（MUIC）と連携し、技術を活用した社会課題解決および社会実装を推進するため、大学発スタートアップ等と大企業等の実証実験プロジェクトの組成および実行を支援している。

実証ニーズを有する大学発スタートアップ等と大企業等とのマッチングおよび実証実験計画の策定・調整を行っており、今年度、実証実験プロジェクト2件（大学発スタートアップが計4社参画）が成立した。

6. 産学連携シェアオフィスの運営

産学融合拠点のモデルとなる事業として、2022年4月～シェアオフィスを運営してきた。2025年6月末に事務所を縮小した際、シェアオフィスとしての営業は終了したが、当法人の公益事業から派生しスピナウトしたプロジェクト法人に対しては引き続き事務所内にデスクを有償で提供している。

利用者	人数
(一社) ライフインテリジェンスコンソーシアム	3名

【法人管理】公益法人としての適正な運営

- 理事会・評議員会の運営

理事会を4回、評議員会を2回開催し、公益法人として適法な運営を行った。

第60回理事会 (書面開催)	2025/4/1	第1号議案 専務理事選定の件
第61回理事会	2025/5/27	第1号議案 2024年度 事業報告書並びに決算報告書承認の件 第2号議案 顧問1名選任の件 第3号議案 第19回評議員会招集の件 報告事項 2024年度事業報告等に係る定期提出書類提出の件 職務執行状況報告
第19回評議員会	2025/6/25	第1号議案 2024年度 決算報告書承認の件 第2号議案 評議員1名選任の件 第3号議案 理事4名選任の件 報告事項 2024年度事業報告の件
第62回理事会	2025/10/20	第1号議案 2025年度収支予算見直しの件 第2号議案 就業規則改定の件 第3号議案 第20回評議員会書面開催の件 報告事項 職務執行状況報告
第20回評議員会 (書面開催)	2025/10/29	第1号議案 顧問への報酬支払の件
第63回理事会	2026/3/18	第1号議案 2025年度事業計画書修正の件 第2号議案 2026年度事業計画書、収支予算書、並びに資金 調達及び設備投資の見込みの承認の件 第3号議案 顧問1名選任の件 第4号議案 2026年度役員賠償責任保険契約締結の件

- オフィス賃貸面積の縮小

6月30日付で、旧GVH（シェアオフィス）スペースの賃貸契約を解消し（株）KMOに返還した。

期間	賃借面積	月額賃料
～6/30	482㎡	1,531,005円
7/1～	174㎡	558,132円

附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

以 上